



先月は、保護者会へのご参加ありがとうございました。楽しい話で盛り上がり、とても良い時間になりました。上手に息抜きをしながら過ごしていけるといいですね！

すっかり秋らしい気候になり、外遊びも楽しめる季節となりました。天気のいい日は外へ出て、たくさん遊ぼうと思っています！



すすり飲み、上手になってきたよ！

保育園では、離乳食開始した頃からストロー飲みではなく、すすり飲みを練習しています。器やコップを自分で持って飲む日はすぐにやってくるので、そのためにすすり飲みを始めます。今まで母乳や哺乳瓶でミルクを飲んでいた時の口の動きと、すすり飲みでの口の動きは違うので、段階を踏んで少しずつ練習していきます。今回は、保育園でどんな風に飲んでいるのかを紹介していきたいと思います！

介助スプーンや大きなスプーンで、すすってみます。大スプーンは横向きにして口につけます。はじめはたくさん入るとむせてしまうので、一口量で練習します。



すする動きがわかってきたら、コップや汁椀で1回すすって飲んでみます。まだ自分で一口の適量はわからないので、最初からコップをたくさん傾けて飲ませるとむせてしまいます。むせないように口に入る量を大人がコントロールしながら、一口量をゴクッと飲んでいきます。器に手を添えることも徐々にらせていきます。

連続飲みが上手になったら、自分で持って飲む事に挑戦！はじめは大人と一緒に手を添えるところから。添え方がわかってきたら、自分で尝试みます。大人はそっと支えて援助。ストローマグに慣れているとコップを傾けて飲むということがまだわからないので、下を向いたまま飲もうとします。なので傾け方や傾ける時のスピードなどを少しずつ丁寧に教えています。



一口量を飲むのが上手になってきたら、今度は2回、3回と連続してゴクゴク飲めるように大人が量をコントロールしながら飲ませていきます。

コップで飲むということの中にはたくさんのポイントが隠れていて、こぼしたり失敗をしながら、子どもたちはしっかりと学んでいます。ひよこぐみのみんなも、本当に上手に飲めるようになってきました！ご紹介したのは一例で、段階によって個人差があるので、急がずその子に合った援助をしながら子どもたちの「できた！！」を見守っていきたいと思います。